

「内部モデルのベンチマーク・スタディー」 (CRO フォーラム) 調査結果について

白須洋子* 松山直樹† 森本祐司‡

概要

近年の経済価値ベースのリスク管理をめぐる議論の進展とともに保険会社の内部モデルの重要性が認識されるようになってきている。本稿では EU-CRO フォーラムに参加する欧州の 13 の保険会社・グループを対象に 2005 年に実施された内部モデルの調査結果と調査担当者の意見を紹介し、日本へのインプリケーションを視野に入れた論評を加える。

キーワード：内部モデル、経済価値、プロセス上の問題、資本十分性、資本流用可能性

(目次)

- 1 内部モデル及びその現状把握
 - 1.1 内部モデルとは
 - 1.2 内部モデルに関する実態把握調査
 - 2 アンケート調査結果
 - 2.1 アンケート調査の概要
 - 2.2 対象保険会社の事業活動
 - 2.3 内部モデル適用範囲
 - 2.4 内部モデルにおける業界標準と規制監督者の意向
 - 2.5 内部モデルの開発
 - 2.6 内部モデルの利用と開発を阻害する要因
 - 2.7 EU ソルベンシー II 向けの内部モデルの柔軟性
 - 2.8 内部モデル承認のプロセス
 - 2.9 資本十分性
 - 2.10 資産と負債の価値評価
 - 2.11 リスク変数と依存性のモデル化
 - 2.12 リスクの合算と分散効果
 - 2.13 リスクの計測
 - 2.14 リスクの舵取りと資本配賦
 - 2.15 モデルの実装と基盤
 - 3 インプリケーション／感想
 - 3.1 調査報告書の各章毎の注目点について
 - 3.2 調査報告書全般について
- 【附論：保険事業のリスク管理に関する基本的な用語理解】

* 金融庁金融研究研修センター研究官 E-mail:yoko.shirasu@fsa.go.jp

† 明治安田生命企画部総合資本管理政策担当部長 E-mail:naoki_matsuyama@meijiyasuda.co.jp

‡ キャピタスコンサルティング(株)代表取締役 E-mail:ymorimoto@capitas.jp

本稿の執筆にあたっては、Damir Filipovic 教授(University of Munich)よりアンケート調査票(白紙)を開示していただいた。また、慶應義塾大学経済学部吉野直行教授及び金融庁総務企画局杉本展康補佐からは有益なコメントをいただいた。記して感謝する。

なお、本稿は、執筆者の個人的な見解であり、金融庁、金融研究研修センター及び執筆者の所属の公式見解を示すものではない。